

AGUD・P Library Letter

2022年 4月利用状況

令和4年5月2日

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	25	20	1,228	422	1,650
末盛分室	24	20	630	46	676
合計	—————		1,858	468	2,326

学外利用者(登録なし)	楠元	2
	末盛分室	0

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	56	103	5	164

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
61	6	11

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	120	179	6	305

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数			件数	
学外受付	37	(21)	学外貸出	1	(0)
学外依頼	19	(3)	学外借受	0	(0)
合計	56	(24)	合計	1	(0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	0
合計	0

(4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学内貸出	5
学内借受	5
合計	10

緑の美しい季節になりました。新年度の図書館には歯学部6年生をはじめとする勉強熱心な学生たちの姿や新たに図書館を利用してくださる学生たちの姿が見られ、爽やかで嬉しいものです。閲覧席の利用には、まだ受付が必要ですが、学部を問わず学生さんが自ら席を選択できます。情報検索コーナーのPCも利用できるようになりました。さらに、コロナ禍以降ずっと利用をお断りしていた学外の方の利用がようやく再開したことも喜ばしいことです。

感染対策は必要ですが、少しずつ日常が戻ってくる実感のあるこの頃です。

一方で、「いのち」について考えさせられることの多い昨今、国語の教科書にも掲載されている谷川俊太郎さんの「生きる」という詩(『うつむく青年』1971年収録)が、ふと思い出され、久しぶりに読み返してみました。何気ない「いま」がいかに貴重なものか...胸にしみます。